



**JASDAQ**

平成 28 年 7 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社メガネスーパー  
代表者名 代表取締役社長 星崎 尚彦  
( J A S D A Q ・ コード 3 3 1 8 )  
問合せ先  
役職・氏名 執行役員 CFO 三井 規彰  
電 話 0 4 6 5 - 2 4 - 3 6 1 1 (代表)

**(訂正)「平成 27 年 4 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の  
一部訂正に関するお知らせ**

当社は、平成 27 年 3 月 13 日付「平成 27 年 4 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 訂正の理由及び経緯

訂正の理由及び経緯につきましては、平成 28 年 6 月 14 日付「過年度有価証券報告書及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」、並びに平成 28 年 7 月 27 日付「(経過報告) 過年度有価証券報告書等の提出及び決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所には下線を付しております。

以 上

### 3. 訂正の内容

#### 【訂正前】

(サマリー情報)

(百万円未満切捨て)

#### 1. 平成27年4月期第3四半期の業績(平成26年5月1日～平成27年1月31日)

##### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第3四半期	10,834	△1.0	△662	—	△792	—	△1,293	—
26年4月期第3四半期	10,947	△9.8	△1,764	—	△1,957	—	△2,088	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第3四半期	△22.54	—
26年4月期第3四半期	△78.52	—

##### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年4月期第3四半期	11,263	△872	△7.8
26年4月期	12,469	93	0.8

(参考) 自己資本 27年4月期第3四半期 △880百万円 26年4月期 93百万円

#### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年4月期	—	0.00	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. A種優先株式、B種優先株式、C種優先株式、A種劣後株式及びB種劣後株式に係る配当の状況は、3、4ページに記載しております。

#### 3. 平成27年4月期の業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,900	△0.1	△400	—	△580	—	△1,120	—	△20.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

【訂正後】

(サマリー情報)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第3四半期の業績 (平成26年5月1日～平成27年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第3四半期	10,786	△1.5	△696	—	△826	—	△1,326	—
26年4月期第3四半期	10,947	△9.8	△1,764	—	△1,957	—	△2,088	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第3四半期	△23.12	—
26年4月期第3四半期	△78.52	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年4月期第3四半期	11,267	△906	△8.1
26年4月期	12,469	93	0.8

(参考) 自己資本 27年4月期第3四半期 △914百万円 26年4月期 93百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年4月期	—	0.00	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. A種優先株式、B種優先株式、C種優先株式、A種劣後株式及びB種劣後株式に係る配当の状況は、3、4ページに記載しております。

3. 平成27年4月期の業績予想 (平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,900	△0.1	△400	—	△580	—	△1,120	—	△20.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 【訂正前】

### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 経営成績に関する説明

(中略)

#### 1. 眼鏡等小売事業

当第3四半期累計期間においては、全店ベースで1,099百万円の前年同期比での営業赤字幅縮小を実現いたしました。第3四半期累計期間を通じた既存店売上前年比は、過年度の既存店売上前年比と同様の100%超えを継続し、粗利では、単価改善が継続し、当該第3四半期累計期間を通して前事業年度比売上高総利益率が3.5ポイント改善し、67.7%となり、収益力が大幅に向上しております。第3四半期全体としては、償却前営業利益（EBITDA）での黒字化を実現しております。既存店売上前年比で、1月は、114.0%を実現し、営業利益ベースでの単月黒字化はむろん、二ケタベースでの伸びは、過去見られない水準です。

かかる業績推移の背景として、当社「中期経営計画」の項目に沿って説明いたします。「中期経営計画」の項目は、下記に整理する通りとなります。

(中略)

#### (5) コスト削減策

●主要なコスト項目たる店舗運営費は、家賃の見直しや赤字店の閉鎖等によって地代家賃や一般管理費などを低下させ、売上を上げるために重要な広告宣伝など販売費を増加させつつ四半期単位でのコントロールを図ってまいりました。

●結果として、当第3四半期累計期間においては、全社費用は、前年比で、9.2%削減（808百万円）しており、売上に対する販管費比率を6.6%引き下げ、損益分岐点が大幅に低下させたまま推移しております。

(中略)

結果として、売上高は10,683百万円（前年同四半期累計期間10,842百万円）、営業損失は634百万円（前年同四半期累計期間は営業損失1,733百万円）となりました。

### 2. 通販事業

(中略)

かかる各事業の営業活動の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は10,834百万円（前年同四半期累計期間10,947百万円）、営業損失は662百万円（前年同四半期累計期間は営業損失1,764百万円）、経常損失は792百万円（前年同四半期累計期間は経常損失1,957百万円）、四半期純損失は1,293百万円（前年同四半期累計期間は四半期純損失2,088百万円）となり、消費税増税後の反動減の中、営業赤字幅はほぼ半減いたしました。

また、前掲の通り第3四半期会計期間においては、償却前営業利益（EBITDA）段階での黒字を達成いたしました。

## 【訂正後】

### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 経営成績に関する説明

(中略)

#### 1. 眼鏡等小売事業

当第3四半期累計期間においては、全店ベースで1,065百万円の前年同期比での営業赤字幅縮小を実現いたしました。第3四半期累計期間を通じた既存店売上前年比は、過年度の既存店売上前年比と同様の100%超えを継続し、粗利では、単価改善が継続し、当該第3四半期累計期間を通して前事業年度比売上高総利益率が3.5ポイント改善し、67.7%となり、収益力が大幅に向上しております。第3四半期全体としては、償却前営業利益（EBITDA）での黒字化を実現しております。既存店売上前年比で、1月は、110.0%を実現し、ニケタベースでの伸びは、過去見られない水準です。

かかる業績推移の背景として、当社「中期経営計画」の項目に沿って説明いたします。「中期経営計画」の項目は、下記に整理する通りとなります。

(中略)

#### (5) コスト削減策

●主要なコスト項目たる店舗運営費は、家賃の見直しや赤字店の閉鎖等によって地代家賃や一般管理費などを低下させ、売上を上げるために重要な広告宣伝など販売費を増加させつつ四半期単位でのコントロールを図ってまいりました。

●結果として、当第3四半期累計期間においては、全社費用は、前年比で、9.2%削減（808百万円）しており、売上に対する販管費比率を6.3%引き下げ、損益分岐点が大幅に低下させたまま推移しております。

(中略)

結果として、売上高は10,635百万円（前年同四半期累計期間10,842百万円）、営業損失は668百万円（前年同四半期累計期間は営業損失1,733百万円）となりました。

### 2. 通販事業

(中略)

かかる各事業の営業活動の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は10,786百万円（前年同四半期累計期間10,947百万円）、営業損失は696百万円（前年同四半期累計期間は営業損失1,764百万円）、経常損失は826百万円（前年同四半期累計期間は経常損失1,957百万円）、四半期純損失は1,326百万円（前年同四半期累計期間は四半期純損失2,088百万円）となり、消費税増税後の反動減の中、営業赤字幅はほぼ半減いたしました。

また、前掲の通り第3四半期会計期間においては、償却前営業利益（EBITDA）段階での黒字を達成いたしました。

【訂正前】

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

流動資産は、前事業年度末に比べて193百万円増加し、5,281百万円となりました。これは、主に前事業年度末に実行した第三者割当による新株式の発行等により増加した現金及び預金が673百万円減少しましたが、不採算店舗の閉鎖に伴い返還される敷金及び保証金を未収入金へ振替計上したこと等により未収入金が630百万円増加したこと及び自社ブランド商品の投入等により商品が230百万円増加したこと並びに季節要因により売掛金が51百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1,399百万円減少し、5,982百万円となりました。これは、不採算店舗の閉鎖に伴い敷金及び保証金の返還等により1,181百万円並びに内装設備を除却したこと等により有形固定資産が190百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1,205百万円減少し、11,263百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて174百万円減少し、2,932百万円となりました。これは支払手形及び営業外支払手形が期日到来により決済されたため378百万円、販売費及び一般管理費削減に伴い未払費用が141百万円、前事業年度の地方税の納税により未払法人税等が41百万円並びに関係会社短期借入金の返済により関係会社短期借入金が58百万円減少しましたが、1年内に返済期日が到来する長期借入金を1年内返済予定の長期借入金に振替えたため98百万円増加したこと及び自社ブランド商品の投入に伴い買掛金が207百万円増加したこと並びにその他に含まれている未払消費税等が131百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて64百万円減少し、9,203百万円となりました。これは退職給付引当金が109百万円増加しましたが、1年内に返済期日が到来する長期借入金を流動負債に振替えたことにより98百万円減少したこと及び入居先の退店に伴い長期預り保証金が39百万円減少したこと等によるものであります。

この結果負債は、前事業年度末に比べて239百万円減少し12,136百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて966百万円減少いたしました。これは、四半期純損失1,293百万円を計上したこと等によるものであります。

【訂正後】

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

流動資産は、前事業年度末に比べて197百万円増加し、5,284百万円となりました。これは、主に前事業年度末に実行した第三者割当による新株式の発行等により増加した現金及び預金が673百万円減少しましたが、不採算店舗の閉鎖に伴い返還される敷金及び保証金を未収入金へ振替計上したこと等により未収入金が630百万円増加したこと及び自社ブランド商品の投入等により商品が233百万円増加したこと並びに季節要因により売掛金が51百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて1,399百万円減少し、5,982百万円となりました。これは、不採算店舗の閉鎖に伴い敷金及び保証金の返還等により1,181百万円並びに内装設備を除却したこと等により有形固定資産が190百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1,202百万円減少し、11,267百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて136百万円減少し、2,969百万円となりました。これは支払手形及び営業外支払手形が期日到来により決済されたため378百万円、販売費及び一般管理費削減に伴い未払費用が141百万円、前事業年度の地方税の納税により未払法人税等が41百万円並びに関係会社短期借入金の返済により関係会社短期借入金が58百万円減少しましたが、1年内に返済期日が到来する長期借入金を1年内返済予定の長期借入金に振替えたため98百万円増加したこと及び自社ブランド商品の投入に伴い買掛金が195百万円増加したこと並びにその他に含まれている未払消費税等が128百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて64百万円減少し、9,203百万円となりました。これは退職給付引当金が109百万円増加しましたが、1年内に返済期日が到来する長期借入金を流動負債に振替えたことにより98百万円減少したこと及び入居先の退店に伴い長期預り保証金が39百万円減少したこと等によるものであります。

この結果負債は、前事業年度末に比べて201百万円減少し12,173百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて1,000百万円減少いたしました。これは、四半期純損失1,326百万円を計上したこと等によるものであります。

【訂正前】

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度決算において、ライツ・オファリング及び第三者割当による新株予約権の発行・行使、デット・エクイティ・スワップ並びに第三者割当による種類株式の発行等による増資により、債務超過を解消しております。一方、当第3四半期累計期間において、前述の通り、1,293百万円の四半期純損失を計上しております。当該状況により、当社は、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況、その他会社の経営に重要な影響を及ぼす事象が存在していると認識し、当該状況を解消すべく、アドバンテッジパートナーズ有限責任事業組合及び当社の長期連帯株主である同組合がサービスを提供するファンドから経営支援を受け、引き続き事業再生を推し進めております。

(省略)

【訂正後】

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度決算において、ライツ・オファリング及び第三者割当による新株予約権の発行・行使、デット・エクイティ・スワップ並びに第三者割当による種類株式の発行等による増資により、債務超過を解消しております。一方、当第3四半期累計期間において、前述の通り、1,326百万円の四半期純損失を計上しております。当該状況により、当社は、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況、その他会社の経営に重要な影響を及ぼす事象が存在していると認識し、当該状況を解消すべく、アドバンテッジパートナーズ有限責任事業組合及び当社の長期連帯株主である同組合がサービスを提供するファンドから経営支援を受け、引き続き事業再生を推し進めております。

(省略)



## 【訂正前】

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,701,889	1,028,749
売掛金	462,900	513,921
商品	2,487,660	<u>2,718,012</u>
貯蔵品	34,578	31,230
前渡金	5,642	641
前払費用	326,525	290,819
未収入金	52,249	682,368
その他	16,728	17,106
貸倒引当金	△624	△1,696
流動資産合計	5,087,550	<u>5,281,152</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,728,214	5,267,807
減価償却累計額	△4,358,617	△4,077,586
建物（純額）	1,369,596	1,190,221
構築物	771,468	754,651
減価償却累計額	△600,257	△609,117
構築物（純額）	171,210	145,534
車両運搬具	18,915	—
減価償却累計額	△18,433	—
車両運搬具（純額）	482	—
工具、器具及び備品	2,246,643	1,954,989
減価償却累計額	△2,122,734	△1,816,273
工具、器具及び備品（純額）	123,909	138,715
土地	1,185,114	1,185,114
建設仮勘定	2,730	2,730
有形固定資産合計	2,853,043	2,662,315
無形固定資産		
商標権	14,112	15,233
ソフトウェア	129,439	122,497
電話加入権	35,475	35,475
その他	5,227	5,227
無形固定資産合計	184,254	178,434
投資その他の資産		
投資有価証券	36,962	30,628
関係会社株式	354	354
出資金	929	919
長期前払費用	116,514	102,511
長期未収入金	129,693	129,693
敷金及び保証金	4,120,521	2,938,893
その他	28,650	27,790
貸倒引当金	△89,149	△89,156
投資その他の資産合計	4,344,476	3,141,634
固定資産合計	7,381,775	5,982,383
資産合計	12,469,325	<u>11,263,535</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	902,095	545,693
営業外支払手形	131,957	109,725
買掛金	962,661	<u>1,169,726</u>
関係会社短期借入金	58,117	—
1年内返済予定の長期借入金	—	98,538
未払金	202,834	269,612
未払費用	557,847	416,106
未払法人税等	150,998	<u>109,572</u>
前受金	117,461	<u>59,357</u>
預り金	17,356	16,262
前受収益	1,860	2,860
その他	3,541	<u>135,056</u>
流動負債合計	<u>3,106,731</u>	<u>2,932,512</u>
固定負債		
長期借入金	7,896,443	7,797,904
退職給付引当金	1,198,298	1,307,815
長期預り保証金	50,057	10,360
その他	123,998	87,813
固定負債合計	<u>9,268,799</u>	<u>9,203,894</u>
負債合計	<u>12,375,530</u>	<u>12,136,406</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,068,455	185,928
新株式申込証拠金	800,000	—
資本剰余金		
資本準備金	2,018,455	320,937
その他資本剰余金	188,306	—
資本剰余金合計	<u>2,206,761</u>	<u>320,937</u>
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	<u>△4,920,207</u>	<u>△1,322,643</u>
利益剰余金合計	<u>△4,920,207</u>	<u>△1,322,643</u>
自己株式	<u>△66,823</u>	<u>△66,838</u>
株主資本合計	<u>88,184</u>	<u>△882,615</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,609	2,120
評価・換算差額等合計	<u>5,609</u>	<u>2,120</u>
新株予約権	—	7,624
純資産合計	<u>93,794</u>	<u>△872,871</u>
負債純資産合計	<u>12,469,325</u>	<u>11,263,535</u>

## 【訂正後】

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,701,889	1,028,749
売掛金	462,900	513,921
商品	2,487,660	<u>2,721,544</u>
貯蔵品	34,578	31,230
前渡金	5,642	641
前払費用	326,525	290,819
未収入金	52,249	682,368
その他	16,728	17,106
貸倒引当金	△624	△1,696
流動資産合計	5,087,550	<u>5,284,683</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,728,214	5,267,807
減価償却累計額	△4,358,617	△4,077,586
建物(純額)	1,369,596	1,190,221
構築物	771,468	754,651
減価償却累計額	△600,257	△609,117
構築物(純額)	171,210	145,534
車両運搬具	18,915	—
減価償却累計額	△18,433	—
車両運搬具(純額)	482	—
工具、器具及び備品	2,246,643	1,954,989
減価償却累計額	△2,122,734	△1,816,273
工具、器具及び備品(純額)	123,909	138,715
土地	1,185,114	1,185,114
建設仮勘定	2,730	2,730
有形固定資産合計	2,853,043	2,662,315
無形固定資産		
商標権	14,112	15,233
ソフトウェア	129,439	122,497
電話加入権	35,475	35,475
その他	5,227	5,227
無形固定資産合計	184,254	178,434
投資その他の資産		
投資有価証券	36,962	30,628
関係会社株式	354	354
出資金	929	919
長期前払費用	116,514	102,511
長期未収入金	129,693	129,693
敷金及び保証金	4,120,521	2,938,893
その他	28,650	27,790
貸倒引当金	△89,149	△89,156
投資その他の資産合計	4,344,476	3,141,634
固定資産合計	7,381,775	5,982,383
資産合計	12,469,325	<u>11,267,067</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	902,095	545,693
営業外支払手形	131,957	109,725
買掛金	962,661	<u>1,158,279</u>
関係会社短期借入金	58,117	—
1年内返済予定の長期借入金	—	98,538
未払金	202,834	269,612
未払費用	557,847	416,106
未払法人税等	150,998	<u>109,401</u>
前受金	117,461	<u>111,207</u>
預り金	17,356	16,262
前受収益	1,860	2,860
その他	3,541	<u>132,094</u>
流動負債合計	<u>3,106,731</u>	<u>2,969,783</u>
固定負債		
長期借入金	7,896,443	7,797,904
退職給付引当金	1,198,298	1,307,815
長期預り保証金	50,057	10,360
その他	123,998	87,813
固定負債合計	<u>9,268,799</u>	<u>9,203,894</u>
負債合計	<u>12,375,530</u>	<u>12,173,678</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,068,455	185,928
新株式申込証拠金	800,000	—
資本剰余金		
資本準備金	2,018,455	320,937
その他資本剰余金	188,306	—
資本剰余金合計	<u>2,206,761</u>	<u>320,937</u>
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	<u>△4,920,207</u>	<u>△1,356,382</u>
利益剰余金合計	<u>△4,920,207</u>	<u>△1,356,382</u>
自己株式	<u>△66,823</u>	<u>△66,838</u>
株主資本合計	<u>88,184</u>	<u>△916,355</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,609	2,120
評価・換算差額等合計	<u>5,609</u>	<u>2,120</u>
新株予約権	—	7,624
純資産合計	<u>93,794</u>	<u>△906,610</u>
負債純資産合計	<u>12,469,325</u>	<u>11,267,067</u>

## 【訂正前】

## (2) 四半期損益計算書

## 第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
売上高	10,947,409	10,834,850
売上原価	3,938,699	3,532,386
売上総利益	7,008,710	7,302,463
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,452,711	2,254,043
退職給付費用	136,190	141,352
地代家賃	2,235,931	2,104,651
その他	3,948,716	3,465,222
販売費及び一般管理費合計	8,773,550	7,965,270
営業損失(△)	△1,764,840	△662,807
営業外収益		
受取利息	1,996	1,636
受取配当金	414	453
集中加工室管理収入	44,561	35,296
その他	17,203	12,497
営業外収益合計	64,176	49,883
営業外費用		
支払利息	177,398	57,694
地代家賃	9,775	87,588
株式交付費	—	11,545
新株予約権発行費	60,494	6,121
その他	9,352	16,862
営業外費用合計	257,020	179,813
経常損失(△)	△1,957,684	△792,736
特別利益		
固定資産売却益	1,941	—
店舗構造改革費用戻入益	12,945	—
ゴルフ会員権売却益	—	1,200
投資有価証券売却益	—	5,994
その他	—	845
特別利益合計	14,887	8,039
特別損失		
固定資産除却損	42,981	88,830
店舗構造改革費用	—	277,620
事業構造改革費用	7,115	—
店舗閉鎖損失	7,054	5,360
その他	2,360	52,793
特別損失合計	59,511	424,604
税引前四半期純損失(△)	△2,002,308	△1,209,302
法人税、住民税及び事業税	86,066	83,955
法人税等合計	86,066	83,955
四半期純損失(△)	△2,088,374	△1,293,257

## 【訂正後】

## (2) 四半期損益計算書

## 第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
売上高	10,947,409	10,786,761
売上原価	3,938,699	3,518,208
売上総利益	7,008,710	7,268,553
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,452,711	2,254,043
退職給付費用	136,190	141,352
地代家賃	2,235,931	2,104,651
その他	3,948,716	3,465,052
販売費及び一般管理費合計	8,773,550	7,965,100
営業損失(△)	△1,764,840	△696,546
営業外収益		
受取利息	1,996	1,636
受取配当金	414	453
集中加工室管理収入	44,561	35,296
その他	17,203	12,497
営業外収益合計	64,176	49,883
営業外費用		
支払利息	177,398	57,694
地代家賃	9,775	87,588
株式交付費	—	11,545
新株予約権発行費	60,494	6,121
その他	9,352	16,862
営業外費用合計	257,020	179,813
経常損失(△)	△1,957,684	△826,476
特別利益		
固定資産売却益	1,941	—
店舗構造改革費用戻入益	12,945	—
ゴルフ会員権売却益	—	1,200
投資有価証券売却益	—	5,994
その他	—	845
特別利益合計	14,887	8,039
特別損失		
固定資産除却損	42,981	88,830
店舗構造改革費用	—	277,620
事業構造改革費用	7,115	—
店舗閉鎖損失	7,054	5,360
その他	2,360	52,793
特別損失合計	59,511	424,604
税引前四半期純損失(△)	△2,002,308	△1,243,041
法人税、住民税及び事業税	86,066	83,955
法人税等合計	86,066	83,955
四半期純損失(△)	△2,088,374	△1,326,996